
2010年度豊田市 中核人材育成プログラム・セミナーのご案内

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。下記の要領で中核人材育成プログラム・セミナーを開催します。今回は、激変する社会環境の中、世界に広がる日本文化『囲碁』の国際化とその課題について考える機会にしたいと思っております。ご多用中のところ恐縮ですが、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日時： 2011.3.20(日) 15:00～17:00

会場： 名古屋工業大学 19号館 2階 202教室

主催： 豊田市・名古屋工業大学

協力： 財団法人日本棋院

概要： 詳細は裏面をご覧ください。 (敬称略)

- 財団法人日本棋院棋士、国際囲碁連盟事務局長 重野由紀
「世界に広がる囲碁の国際化とその課題」

※終了後、場所を変えて交流会を開催します。併せてご参加下さい。

【連絡・問い合わせ先】名古屋工業大学大学院工学研究科
産業戦略工学専攻 小竹暢隆
(052) 735-7961

odake.nobutaka@nitech.ac.jp

申込表 (FAX 052-735-7961 まで)

所属・部署名				
連絡先	住所			
	T E L		FAX	
	E-mail			
参加者氏名	役職		御氏名	
参加	講演会 (出席・欠席) ・ 交流会 (出席・欠席)			

*メールで申し込みいただくか、切らずにそのままFAXしてください。

プロフィール： 重野由紀 財団法人日本棋院棋士、国際囲碁連盟事務局長

職歴： 日本棋院棋士 二段 / 国際囲碁連盟事務局長 (2006年～)

出身： 1965年生まれ、新潟県出身

経歴： 1978年島村俊廣九段に入門、内弟子に入る。

1986年入段 (プロ入り)

1997年イタリア、ミラノを拠点に海外の囲碁指導に携わる。世界35カ国を指導に回る。

2006年日本帰国、国際囲碁連盟 (IGF) 事務局長として運営に関わり現在に至る。

2008年国際マインドスポーツ協会 (IMSA) 主催の第1回世界マインドスポーツゲームズが北京で開催。

2010年第16回広州アジア大会に囲碁が初参加、上部団体として運営に関わる。

(敬称略)

演題： 「世界に広がる囲碁の国際化とその課題」

概要： 日本では『棋道』と称され、武道や華道などと並び古くから社会に根付き親しまれている伝統文化である。中国、韓国、日本といった東アジアで盛んな囲碁が欧米に広まり始めたのは約120年前。これまで海外への囲碁普及に努めてきた日本だが、21世紀に入りグローバル化が進む中、インターネットの一般家庭への普及とあいまって爆発的に海外囲碁ファンは増えている。現在、世界70カ国以上で楽しまれ世界囲碁人口は4000万人 (推定)。欧米ではチェスと並び『マインドスポーツ』と位置づけられ、2010年11月広州アジア大会では初の正式競技として取り上げられた。伝統文化を重んじる日本が抱える今後の可能性と課題をテーマに、世界各地での囲碁風景を、写真を通して紹介する。

■会場地図

